

第27回子ども自然体験キャンプ in 阿蘇 (1日目) 8.21.



宇部市役所から出発です
つま先立ちでいつまでも
家族の皆さんに
送って頂きました



キャンプ場でのオリエンテーション
いよいよ5日間のキャンプの始まり



夕食は施設のレストランで
豚キムチ丼、ハンバーグ、
スープ、パン、などなど



第27回子ども自然体験キャンプ(2日目) 8.22.



朝の集いで、今日の詳しい予定や持ち物などの伝達も行われます



子どもたちに大人気のカモの行進



阿蘇神社まで5キロのハイキングに出発



阿蘇神社の小さな水路の冷たい水に足を浸けて、昼食の弁当を頂きました



「世界で一番大好きな人から届いた手紙
ずっと そばで見守ってくれる
あなただけの宝物です」

「覚えてますか？ふるえる思いで読んだ
大切な家族からのあなたへの言葉」



第27回子ども自然体験キャンプ(3日目) 8.23.



再度、手紙を読み、真剣な顔で感想文を書きました



「続けていますか？持っていますか？

自分の仕事 未来へのヒント」



子どもたちはみんな、生まれながらの冒険家です



第27回子ども自然体験キャンプ(4日目) 8.24.



阿蘇山をバックに全員集合写真



みんなが主役の阿蘇山フェスティバル！！



最終日・全員集合写真



お出迎いの皆さんの笑顔

それを見つめる子どもたちの笑顔

少したくましくなったみんなの笑顔

4泊5日のキャンプで 140人、よりたくましく 自然体験終え帰宇

NPO法人・森と海の学校(岡村精二理事長)主催の第二十七回子ども自然体験キャンプin阿蘇に、宇部市や山陽小野田市などから参加した子供たちが



解団式で岡村理事長のあいさつを聞く参加者ら(市役所前で)

二十五日、親元を離れた四泊五日間のキャンプを無事に終え、元気一年生までの百十七人

と、高校生を含むスタッフ二十三人の計百四十人が参加。熊本県の国立阿蘇青少年交流の家に宿泊しながら、仙酔峡での川遊び、わき水探索、カドリードミニオン見学などを体験した。

宇部市役所前で行われた解団式では、参加した全員が日焼けした顔で整列し、出迎えて来た父母らに「たいま」と元気よくあいさつ。大自然と団体生活の中ではくんだ心の成長ぶりをつかがわせた。

主席指導員を務めた山根教雄さん(三巴)は「出発式とは違った返事が聞けた。最初はせかされていた子も時計を見ながら行動するようになり、最終的には十分前には集合できるようになった。一日ごとに成長する姿に接することができて、うれしい気持ちでいっぱい」とあいさつ。

初めて参加したという久保田聖泰さん(川上中一年)は「以前は率先して行動することはなかったが、班長を任されて責任の重さを感じ、班員を引っ張っていくことも良いことだと思った」と感想を述べた。(山石村)



お手紙を読んで、涙の中で、親、家族の大切さを学びました。